

合併後における活性化を目的に平成22年玉川地域活性化協議会を発足し、補助事業を受け、町内を現地踏査しガイドブック「こんな玉川知らなかった」を作成した。また、文化伝承活動や町の動きを情報発信するホームページ「玉川ねっと」も開設した。

補助事業が終了した次年度からは補助金はない。が、これで解散はしたくない。今までの取り組みを継続しながら新しい



特集②

モノづくりから拓く地域活性化

NPO法人玉川サイコー 理事長 井出 サツミ (今治市)

地域づくりにチャレンジするため、平成25年3月にNPO法人玉川サイコーを設立した。サイコーとは、再考して再興して最高になるようにとの願いを込めて命名したものである。

地域資源の有効活用

玉川サイコーは、「玉川町を元気にしよう」をスローガンにスタートした。何といっても玉川町には今治市の貴重な水資源である玉川ダム湖がある。玉川町内の飲食店、地元の窯元、行政、NPOが参画して新しいプロジェクトを立ち上げた。これが「玉川ダムカレー研究会」である。

第1回研究会では、玉川らしさを出すためには「ダム湖の形をイメージした器にしよう」とか、「湖をカレールーで表してみたらどうか」などの意見が出た。併せて資金面では、えひめ地域政策研究センターの「まちづくり活動アシスト事業」の助成を得られる事となった。



ダムカレーマップ

第2回研究会では、器、食材、味、レシピはどうするかを議題とした。

地元の窯元「風泥舎」で焼いた玉川ダム全体をモチーフにした試作品のカレー皿を見て討論した。重いので洗うことや収納に困るとか内側にダムの貯水率ならぬ貯ル率の目盛を付けて、食べるにつれて渇水になるデザインなど遊び心を加えてみてはとの意見も出た

次に①共通のお皿に盛る。②カレールーの食材はなるべく地産地消で各店舗オリジナルの味を提供する。③価格・盛り付けは自由という申し合わせができた。

第3回研究会では、今までの話し合いの課題をベースにアンケート調査を行った。各店舗と面談し、意向調査および協賛店加盟について確認して9月頃には大体共通認識と開発の動きを掴めた。

玉川サイコーのモノづくり

その間、私達も、野外イベントで食べれるフラッグシップカレーを作ろうという事で、スパイシーなグリーンカレーの開発にいきついた。味は上々だが、何とかダム湖の象徴を表したいと工夫



協議を積み重ね完成したダムカレー皿



■モノづくり玉川ダムカレーの誕生

し、野外用の軽易な皿にのせた御飯をダム湖の形にくり抜き、そこにルーを入れ時節の野菜をトッピングして出来上がり。玉川サイコーの玉川ダムカレー誕生である。

第4回研究会では、試作を重ね軽量化したダム型のお皿に、各店舗が持ち寄った独自のルーを盛り付けての試食会となった。トッピングも各店工夫を凝らしている上に、ルーの味は、ビーフ、猪肉、牛筋スープと野菜の煮込み、仙高ポーク、鹿肉、グリーンカレーと出揃った。

また、協賛店に揃いの黄色い幟を立てようと、幟のデザインも相談できた。

各店舗では更にルーの味付けの研究と盛り付けに工夫を凝らして12月から販売開始となった。お皿のユニークさからマスコミやフリーペーパーでも紹介され、連日玉川ダムカレー目当ての顧客で大いに賑わい、休日には配布していたダムカレー皿が不足する程になってきた。より独自の工夫を凝らす店舗も出てきた上に、新たな協賛店加盟の動きも出てきた。

それにつれて、玉川ダムカレーの趣

■美味しい食べ物・珍しいイベントは人を呼ぶ

旨を表示したマップの必要性を感じ、作成し各店舗へ配布した。イベント会場でも、各店舗の実情をマップで説明して手渡すなど利用者の拡大に努めている。

玉川ダムカレーは、玉川の地域おこし活動と連動している。

今治市のイベントはもちろん、玉川ダム湖面を自転車で走る「レイクリング」、鈍川温泉の「すっぱん美人の足湯」、各地をリレー方式で開催する「マルシェリレー」等新しい取り組みも始まり、各会場では、玉川ダムカレーの黄色い幟がハタハタとなびいて多くの人々を呼んでいる。「町を元気に」と謳っての食と連動したイベントは、

その都度マスコミでも取り上げられその効果は大きい。

更にカレーにとどまらず、猪肉コロッケ、いよかんマドレーヌ、玉川サイコーピザ、よもぎ団子・ラスクなどモノづくりに挑戦してカレー



子供もよろこぶレイクリング



ユニフォームを着たパワー溢れるメンバー達

と共に訪れた方々の好評を得ている。

最近では、わが町の宝とする玉川万葉の森、玉川近代美術館、鈍川温泉等を訪れた団体客が、お昼の会食に利用しているケースもよく聞かれる。

■今後の歩み

私たちの活動は観光振興事業として捉え、飲食店の応援隊として、今後も「玉川ダムカレー研究会」を継続して、更なる発展を願って連携や調整を図りホームページで町の動きやダムカレーの紹介など情報発信していく。

「地域づくりは楽しく」をモットーに、地域への愛着と誇りをもってふるさとを元気にして次世代に繋いでゆきたい。